

整理番号
47

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	参事	課長	係長

事業名	妊産婦等健診事業（再掲）			担当課	健康推進課
業務名	妊産婦等健診事業			担当係	地域母子係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	2	保健・医療		事業区分	全部委託
主な取組	1	保健事業の推進		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	4	1	母子保健事業費	

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが、健康寿命をのばし、いきいきと暮らすことができるよう、各世代の状況に応じたきめ細かな保健事業を推進するとともに、市民ニーズを踏まえ、地域医療体制の充実を進めます。

事業概要【PLAN】
妊産婦の出産と周産期の健康保持のため、定期的な妊産婦健診、新生児聴覚検査により先天性聴覚障害を発見し早期治療や早期療育を図ります。

対象【PLAN】	市民（妊産婦及び新生児）	意図【PLAN】	安全・安心な出産、周産期の健康保持と先天性聴覚障害の早期発見支援を行います。
-----------------	--------------	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
妊産婦や新生児が定期的健康診査を受診し、必要時に訪問・相談等を受けることができる体制を整備します。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績※未確定)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	1,085	1,077	1,402	1,972		
	都道府県支出金	千円	0	0	1	191		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	31,697	30,971	25,150	35,803		
	事業費合計	千円	32,782	32,048	26,553	37,966		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
妊産婦健診受診率	%	目標値が実績値以上となること	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	100.0	100.0			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	安全・安心な出産、産後の健康保持、児の健やかな成長は本人たちのみならず、社会的に重要であり、その支援の一つとなる本事業は必要性、優先度の高い事業です。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	妊産婦健診、新生児聴覚検査を実施することにより、妊産婦と児の健康保持、早期発見・早期治療につながっています。また医療機関との連携をとることにより、支援が必要な方へ早期に専門職が支援を行っています。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	国が示している検査を実施することにより、周産期における重要な健康保持を図るため、実施する必要があることから、費用削減は困難です。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	母子健康手帳交付時に健診受診の必要性について説明を行い、妊産婦健康診査・新生児聴覚検査は受診率が高い状況を維持しています。また、早期に支援が必要な妊産婦に対し、妊婦連絡票・ハイリスク妊産婦連絡票にて医療機関と連携をとり、早期に支援を行っています。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
48

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	参事	課長	係長

事業名	乳幼児相談・指導事業（再掲）			担当課	健康推進課
業務名	乳幼児全戸訪問			担当係	地域母子係
基本目標	健やかでやさしい健康・福祉のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	2	保健・医療		事業区分	直営
主な取組	1	保健事業の推進		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	4	1	母子保健事業費	

目的と方針【PLAN】	市民一人ひとりが、健康寿命をのばし、いきいきと暮らすことができるよう、各世代の状況に応じたきめ細かな保健事業を推進するとともに、市民ニーズを踏まえ、地域医療体制の充実を進めます。		
事業概要【PLAN】	乳幼児及び妊産婦の健康増進のため、乳幼児に対する全戸訪問を行い、母子健康保健の充実を図ります。		
対象【PLAN】	市民（妊産婦及び新生児・乳幼児とその保護者）	意図【PLAN】	児の発育・発達を保護者と一緒に確認し、必要な情報提供や保健指導を行うことで保護者が見通しをもち子育てができるように支援します。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	子どもの健全な成長発達のために、脳の発達と成長を促す生活環境と食のリズムが不可欠であるため、保護者があるその重要性を理解し、健康的な生活を意識して子育てすることができるように支援します。		

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	4,440	4,800	5,845	6,624		
	都道府県支出金	千円	573	720	560	3,658		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	6,529	7,164	8,894	6,842		
	事業費合計	千円	11,542	12,684	15,299	17,124		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
新生児乳児訪問実施率	%	目標値が実績値以上となること	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	93.0	98.5			
			達成率	93.0%	98.5%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

評価視点		評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	少子化、核家族化など母子を取り巻く社会環境の変化に伴い、育児不安を抱える保護者が増加しており、市民ニーズ・社会的需要が高い事業です。児の健やかな発育・発達を促すため、乳幼児全戸訪問による保護者への保健指導は重要であり、優先度は高い事業です。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	保護者と共に児の発達・発育を確認し、必要な情報提供をすることにより、保護者の育児不安を軽減することができています。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	就労している保護者が増えていることから、保護者負担を考慮し、感染症対策を行い、訪問時間に配慮しながら支援を行っています。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	家庭の生活リズムを整えることにより、健康的な生活を送ることができるよう、事業に取り組みました。子どものころに習慣化された生活リズムは成人期に持ち越されやすく、生涯にわたる生活習慣の基盤になります。伊達市版ネウボウを推進し、愛着形成と生活習慣の確立により、健康を意識した子育てができるよう、親子へ寄り添って支援します。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
49

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	参事	課長	係長

事業名	健康・食生活指導事業（再掲）			担当課	健康推進課
業務名	重症化予防事業			担当係	地域保健係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	2	保健・医療		事業区分	直営
主な取組	1	保健事業の推進		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	一般	4	1	健康増進事業費	

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが、健康寿命をのばし、いきいきと暮らすことができるよう、各世代の状況に応じたきめ細かな保健事業を推進するとともに、市民ニーズを踏まえ、地域医療体制の充実を進めます。

事業概要【PLAN】
健診結果に基づき、生活習慣病予防対策として、疾病発症予防ならびに重症化予防を目的に、個別の保健指導を行います。

対象【PLAN】	一般市民	意図【PLAN】	健康に対する意識の向上と疾病予防の知識普及により健康増進を図ります。自分のからだの状態を知るために健（検）診を受診する市民が増えるとともに、健診結果の有所見者割合の減少を目指します。
-----------------	------	-----------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
ハイリスクアプローチとして、肥満判定者・血糖値コントロール不良者や未治療者、高血圧のコントロール不良者、未治療者に対し、保健師や栄養士により重症化予防事業を行います。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	280	54	54	50		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	812	852		
	一般財源	千円	1,030	1,216	1,139	680		
	事業費合計	千円	1,310	1,270	2,005	1,582		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
重症化予防事業該当者の割合	%	目標値が実績値以下となること	目標値	34.0	33.0	32.0	31.0	30.0
			実績値	24.8	22.9			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	生活習慣病の発症や重症化予防により、健康寿命を延伸します。健診結果と個人の生活の状況に合わせた保健指導を行い、生活習慣の見直しを行います。脳血管疾患や慢性腎臓病など、介護の要因や疾病の重症化の予防を目的としていることから、優先度は高い事業です。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	健診結果の正常化により、市民の生活のQOLの維持や健康意識の向上、医療費に削減につながることから、社会的貢献度が高く、必要とされる事業です。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	対象者の抽出は、専用のツールによりリスクを自動的に判定し、短時間でリスト化しています。保健指導で用いる資料に工夫し、指導内容のレベルの向上と準備にかかる時間を削減しています。健診の受診者数を増やすことと同時に、保健指導を行い生活習慣病を予防することを目的としているため、規模縮小は困難です。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	伊達市生活習慣病対策「血管を守る大作戦3」を策定し、実施しています。重症化予防のため、脳心血管リスクが高い方により早い段階で支援を図るよう、前々年度Ⅱ度（中程度）高血圧以上であり前年度未受診の方としました。また、健診結果では血圧や血糖値の改善が見られますが、腎機能は悪化傾向のため、個別指導の取り組み強化を継続していきます。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
50

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	参事	課長	係長

事業名	不妊治療費助成事業			担当課	健康推進課
業務名	-			担当係	地域母子係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	2	保健・医療		事業区分	直営
主な取組	1	保健事業の推進		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	4	1	母子保健事業費	

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが、健康寿命をのばし、いきいきと暮らすことができるよう、各世代の状況に応じたきめ細かな保健事業を推進するとともに、市民ニーズを踏まえ、地域医療体制の充実を進めます。

事業概要【PLAN】
不妊治療を行う者の経済的負担軽減のため、治療費の一部を助成します。

対象【PLAN】	①特定不妊治療を受けた伊達市在住の夫婦 ②一般不妊治療を受けた伊達市在住の夫婦	意図【PLAN】	挙児を欲する夫婦が希望する場合、不妊治療を受ける際の経済的負担を軽減します。
-----------------	--	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
不妊治療を望む夫婦の経済的負担が少なくなることで、不妊治療を受ける機会が提供される体制ができること。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績※未確定)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	3,736	5,462	6,891	7,716		
	事業費合計	千円	3,736	5,462	6,891	7,716		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
助成件数	件	目標値が実績値以上となること	目標値	80	90	100	110	120
			実績値	68	92			
			達成率	85.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

評価視点		評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	令和4年度から一般不妊治療、特定不妊治療（生殖補助医療）の保険適用が開始されました。依然として高額な医療費がかかり、複数回治療を要する申請が多く、全国的に不妊治療を受ける夫婦が増加していることから、事業としての優先度、市民ニーズは高い事業です。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	治療費を助成することで、挙児を希望する方の経済的負担軽減となり、治療を受けることができる環境を作ることにつながっています。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	助成限度額上限の申請が、全体の約半数を占め、助成額の削減は難しい事業です。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	助成があることにより、治療の実施に対し前向きになったという市民の声がありました。保険適用となったことにより、事務手続きにおいて高額療養費や附加給付の確認が必要となり、保険適用前に比べ事務や市民への説明が複雑化したため、わかりやすく説明するよう工夫しています。また、近隣医療機関へチラシを配布することで、対象者が受診医療機関からの紹介を受け申請につながっています。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
51

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	参事	課長	係長

事業名	検診事業				担当課	健康推進課
業務名	-				担当係	健康管理係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			計画期間	令和6年度 ~ 令和8年度
施策項目	2	保健・医療			事業区分	直営
主な取組	1	保健事業の推進			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	4	1	6	検診事業	

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが、健康寿命をのばし、いきいきと暮らすことができるよう、各世代の状況に応じたきめ細かな保健事業を推進するとともに、市民ニーズを踏まえ、地域医療体制の充実を進めます。

事業概要【PLAN】
早期発見・早期治療につなげることで健康寿命を延ばし、さらには医療費の削減を目的に、40歳以上の市民（子宮頸がんは20歳以上）を対象に、各種がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗鬆症検診を実施します。

対象【PLAN】	40歳以上の市民（子宮頸がん検診については20歳以上の女性）	意図【PLAN】	検診を受けることで、がんの早期発見・早期治療につなげ、がん検診の死亡者数を減らしていきます。
-----------------	--------------------------------	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
がん検診を定期的に受けることによりがんの早期発見・早期治療が可能であることを周知し、がんを予防するために必要な環境整備や体制を継続して実施します。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	1,426	1,227	1,186	367		
	都道府県支出金	千円	788	818	849	828		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	2,880	2,696	2,556	4,151		
	一般財源	千円	106,158	106,873	106,449	114,687		
	事業費合計	千円	111,252	111,614	111,040	120,033		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
検診受診率	%	目標値が実績値以上となること	目標値	34.1	34.7	35.3	35.9	40.0
			実績値	33.6	33.8			
			達成率	98.5%	97.4%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	健康増進法に基づく事業であり、健康寿命延伸のため、介護の主な原因である生活習慣病の発症や重症化を適切に防ぐこと、早期発見・早期治療により医療費の抑制につながるということが重要であることから優先度は高い事業です。各地域の交流館にて巡回し総合健（検）診として実施しており、平日に健（検）診を受けられない方のために土日健（検）診を開催し、健（検）診を受けやすい環境づくりを行っています。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> 国の目標受診率は60%で、目標値に届いていない状況です。 がん検診を多くの市民に受診していただくため、国の目標を目指し、受診勧奨をしています。健康寿命の延伸のため、がん検診を受けて早期発見早期治療となり、健康な生活を送ることができるよう検診の方法や内容について、国や県の動向をみながら実施します。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の受診率向上のためにSNSや市の広報誌などで啓発を実施しています。 スムーズな健（検）診を実施するため予約制を導入し、事務の効率化を図ると同時に、受付時の待ち時間を解消するなど、市民に負担をかけない工夫をしています。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	国のがん検診受診率の目標値60%（令和5年3月閣議決定第4期がん対策推進基本計画）を目指し、受診率向上のための工夫、啓発方法等の改善をしながら維持継続します。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
52

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	参事	課長	係長

事業名	健康・食生活指導事業（再掲）			担当課	健康推進課
業務名	次世代アプローチ			担当係	地域保健係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	2	保健・医療		事業区分	直営
主な取組	2	栄養と食生活の充実		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	一般	4	1	6	健康増進事業費

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが、健康寿命をのばし、いきいきと暮らすことができるよう、各世代の状況に応じたきめ細かな保健事業を推進するとともに、市民ニーズを踏まえ、地域医療体制の充実を進めます。

事業概要【PLAN】
学童期から成人期に至るこどもたちの生活リズムを整え、バランスよく食べる食習慣の形成のため、学校等に
出向き、減塩の必要性や食生活習慣について、次世代に対するアプローチを行います。

対象【PLAN】	小・中・高校生（次世代）	意図【PLAN】	次世代から基本的な生活リズムや食習慣を確立し、将来の生活習慣病の発症・重症化予防につなげます。
-----------------	--------------	-----------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
次世代アプローチとして、基本的な生活リズムや食習慣の確立のための健康教育を行います。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	280	54	54	50		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	812	852		
	一般財源	千円	1,030	1,216	1,139	680		
事業費合計		千円	1,310	1,270	2,005	1,582		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
アプローチ実施数	回	目標値が実績値以上となること	目標値	20	24	26	28	30
			実績値	14	18			
			達成率	70.0%	75.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	次世代に対するアプローチは、心身の成長期にあり、朝食をとること、バランスよく食べること、食習慣の重要性について学びを深めることが有効です。食環境が変化し、食品を選ぶ知識を持つ必要があることから、優先度の高い事業です。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	次世代へ向けた健康教育を実施することで、子から親世代への食育につながり、家庭での健康意識の普及と食習慣の改善が期待できます。講話の内容を聞いたこどもが家庭の中で話題になった等、親世代からの声がありました。社会貢献度、満足度は高い事業です。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	県食改の補助金を活用し費用を抑えました。栄養教諭との連携事業であるため効率的に実施でき、短時間でも小学生が理解しやすいよう資料を作成しました。少子化により子どもの数が減少する中、市内の児童・生徒が生活習慣病予防を学ぶ唯一の機会です。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	県の「ふくしまっ子栄養教室」との連携で取り組んできました。令和7年度は、市内全小学校に対し実施ができるよう生涯学習課と協議し、小学5年生対象に行う「通学合宿」の場で健康教育を行います。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
53

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	参事	課長	係長

事業名	妊産婦等健診事業（再掲）			担当課	健康推進課
業務名	妊婦歯科検診			担当係	地域母子係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	2	保健・医療		事業区分	直営
主な取組	2	栄養と食生活の充実		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	4	1	母子保健事業費	

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが、健康寿命をのばし、いきいきと暮らすことができるよう、各世代の状況に応じたきめ細かな保健事業を推進するとともに、市民ニーズを踏まえ、地域医療体制の充実を進めます。

事業概要【PLAN】
妊婦に対し歯科検診を実施し、口腔に対する関心や、歯科疾患の予防、早期発見及び早期治療の勧奨を行い母体の健康増進を図ります。

対象【PLAN】	市民（妊婦）	意図【PLAN】	歯周病による早産・低出生体重児のリスクや、妊婦にう歯があることによる児のう歯リスクを軽減することです。
-----------------	--------	-----------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
妊娠届の際に妊婦歯科検診の受診票を配布し、福島歯科医師会所属の伊達市内契約歯科医療機関にて受診し、検診を受け、相談等を受けることができます。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績※未確定)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	1,085	1,077	1,402	1,972		
	都道府県支出金	千円	0	0	1	191		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	31,697	30,971	25,150	35,803		
	事業費合計	千円	32,782	32,048	26,553	37,966		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
妊婦歯科検診受診率	%	目標値が実績値以上となること	目標値	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0
			実績値	32.5	40.8			
			達成率	79.3%	97.1%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	歯科検診を受けることにより、安心して妊娠・出産ができる体制を確保することにつながり、事業としての優先度は高い事業です。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	妊婦歯科検診を実施することで、口腔の状態がわかり、早期治療につながっています。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	歯科医療機関に委託しており、口腔環境をよくするため、多くの妊婦が受診していただく必要があるため、費用削減は困難です。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	妊娠届時、対面にて受診勧奨を行っています。受診者に対する簡易アンケートにより、妊婦の就業状況や体調の変化で受診につながりにくいことがわかりました。今後、更に妊娠期における歯科検診の重要性について伝え受診を促します。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
54

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	参事	課長	係長

事業名	乳幼児相談・指導事業（再掲）				担当課	健康推進課
業務名	乳幼児健康相談・教育事業				担当係	地域母子係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	2	保健・医療			事業区分	直営
主な取組	2	栄養と食生活の充実			—	—
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	4	1	7	母子保健事業費	

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが、健康寿命をのばし、いきいきと暮らすことができるよう、各世代の状況に応じたきめ細かな保健事業を推進するとともに、市民ニーズを踏まえ、地域医療体制の充実を進めます。

事業概要【PLAN】
乳幼児及び妊産婦の健康増進のため健康相談等を行い、乳幼児期からのよい食習慣、生活リズムの形成やむし歯予防を行います。

対象【PLAN】	市民（妊婦及び乳幼児とその保護者）	意図【PLAN】	母子の将来に向けた生活習慣病予防を含む次世代の健康づくりを推進します。
-----------------	-------------------	-----------------	-------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
妊婦及び乳幼児とその保護者が、望ましい食習慣・生活リズムを習得し、将来の生活習慣病予防のために健康相談や健康教育を受けられる体制にします。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績※未確定)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	4,440	4,800	5,845	6,624		
	都道府県支出金	千円	573	720	560	3,658		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	6,529	7,164	8,894	6,842		
	事業費合計	千円	11,542	12,684	15,299	17,124		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
健康相談・教育実施回数	回	目標値が実績値以上となること	目標値	36	40	40	45	50
			実績値	28	48			
			達成率	77.8%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	少子化、核家族等、母子の取り巻く社会環境の変化に伴い、育児や離乳食の進め方に不安を覚えている保護者が増加しており、安心して育児が進められるように支援するため、優先度の高い事業です。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	子どもの月齢や個々の成長発達に合わせた細やかな支援を行うことで、保護者の育児不安の軽減につながっています。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	健康教育では、使用する媒体や様式を統一することで準備や終了後の復命書作成にかかる時間を短縮しました。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	こどもに関わる部署と連携して健康教育を実施したことで、望ましい生活習慣や口腔ケアについて伝えることができました。安全・安心に出産・育児ができるように気軽に相談できる体制を整え、継続的支援を実施します。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
55

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	参事	課長	係長

事業名	診療所医業承継支援事業			担当課	健康推進課
業務名	-			担当係	健康企画係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	2	保健・医療		事業区分	直営
主な取組	3	地域医療体制の充実		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	4	1	保健衛生諸費	

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが、健康寿命をのばし、いきいきと暮らすことができるよう、各世代の状況に応じたきめ細かな保健事業を推進するとともに、市民ニーズを踏まえ、地域医療体制の充実を進めます。

事業概要【PLAN】
市内の医療提供体制を確保するため、市内の医業を承継した医師に対して補助金を交付します。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	医療提供体制の維持
-----------------	----	-----------------	-----------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
関係機関への周知徹底を図ります。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	-	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	-	0	0	0		
	地方債	千円	-	0	0	0		
	その他	千円	-	0	0	0		
	一般財源	千円	-	0	0	0		
	事業費合計	千円	-	0	0	0		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
承継件数	件	目標値が実績値以上となること	目標値	1	1	1	1	3
			実績値	0	0			
			達成率	0.0%	0.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	地域医療確保の観点から優先度は非常に高い事業です。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	今ある診療所を地域に残すことが有効であり、現在の医療提供体制を存続させる観点から、事業効果は期待できると考えています。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	市内の診療所、県、県医師会に対し周知を行っており対象者に対して効率的な周知を行っています。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和6年度は県医業承継バンクの1件についてマッチング中であり、令和7年度の申請に向けて県医師会と情報を共有しながら進めます。令和7年度から地域医療確保対策事業へ統合し効率化を図りながら、県、医師会等と連携し事業を推進します。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
56

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	参事	課長	係長

事業名	地域医療確保対策事業				担当課	健康推進課
業務名	-				担当係	健康企画係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	2	保健・医療			事業区分	全部委託
主な取組	3	地域医療体制の充実			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	4	1	1	保健衛生諸費	

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが、健康寿命をのばし、いきいきと暮らすことができるよう、各世代の状況に応じたきめ細かな保健事業を推進するとともに、市民ニーズを踏まえ、地域医療体制の充実を進めます。

事業概要【PLAN】
・2次救急医療体制の強化及び地域医療体制の充実・強化を図るため、地域医療の中核を担う病院等に運営費の一部を助成します。
・福島県立医科大学総合内科・臨床感染症学講座を寄附講座により北福島医療センターに設置し、複数疾患を持つ患者の受け皿とします。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	医療提供体制の充実
-----------------	----	-----------------	-----------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
病院等の運営費に対する補助を行い、地域医療を担う総合内科医の育成と感染症に関する研究を実施します。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	40,000		
	一般財源	千円	135,224	94,568	57,985	75,116		
	事業費合計	千円	135,224	94,568	57,985	115,116		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
必要なときに適正な医療が受けられる市民の割合	%	目標値が実績値以上となること	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	100.0	100.0			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	市民アンケートの調査結果において、医療に関する関心が高いことがわかりました。地域医療の充実は重要課題です。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	当該医療機関は、地域医療支援病院として地域貢献しているほか、救急告示病院の指定を受け、救急医療の役割を担っており、医療提供体制の充実を図るうえで、重要な位置づけにあります。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	特別交付税の活用、寄附講座の共同設置により費用の削減に努めました。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	中核病院に対する運営補助のみならず、産科・小児科の新規開業や診療所承継支援に対する補助などの事業周知を図り地域医療の確保を図ります。 令和7年度から地域救急医療体制整備事業と診療所医業承継支援事業を本事業へ統合し、事業効率化を図りながら事業を推進します。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
57

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	参事	課長	係長

事業名	地域救急医療体制整備事業				担当課	健康推進課
業務名	-				担当係	健康企画係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	2	保健・医療			事業区分	補助
主な取組	3	地域医療体制の充実			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	4	1	1	保健衛生諸費	

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが、健康寿命をのばし、いきいきと暮らすことができるよう、各世代の状況に応じたきめ細かな保健事業を推進するとともに、市民ニーズを踏まえ、地域医療体制の充実を進めます。

事業概要【PLAN】
休日及び夜間の救急医療体制の整備、充実を図るため平成23年10月に構築した病院群輪番体制の維持を図ります。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	救急医療体制の確保
-----------------	----	-----------------	-----------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
伊達地方病院群輪番体制を維持します。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	16,863	17,171	17,184	18,211		
	事業費合計	千円	16,863	17,171	17,184	18,211		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
救急時に適正な医療が受けられる市民の割合	%	目標値が実績値以上となること	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	100.0	100.0	-		
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	適切な診療と治療が必要で、それぞれの救急状況に応じた迅速な対応が求められるため、優先度は高い位置づけにあります。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	伊達管内の3病院群が輪番制により救急医療体制を確保していくことは非常に有効です。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	伊達地方病院群輪番制協議会の運営にあたっては、会長の所属する病院内に事務局を設置しています。救急搬送件数は年々増加しているため、負担金の削減は困難です。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	医師の偏在、医師の働き方改革により、夜間救急体制の維持が課題となっています。令和7年度から地域医療確保対策事業へ統合し、事業効率化を図りながら適切に医療を受けることができるよう医師会等と連携を図ります。
--------	----	-------------------------	---